

光市医師会報

平成3年2月号

No. 220



邪気祓い

光市医師会

〈会員寄稿〉

我が青春の譜

竹中 昭二

我々年代の者の青春時代と云えば、大東亜戦争の始まりから終戦後の苦難の時代にあたり、華やかな思い出よりも陰うつな事の方が多かった様に思う。青春の譜という大層な題をつけたが若い頃の思い出話として軽い気持ちで読んで頂きたい。

昭和16年12月8日、大東亜戦争勃発時は旧制中学1年生で軍艦マーチにのった大本営発表を聞き日本の大勝に国中が沸いていた様な思い出が強い。その後の経過は御存知の通りで昭和18年頃より段々と状況は悪化し日本の敗戦は濃厚となっていくわけであるが、現在で云うマスコミの力は絶大で当時の大本営発表や新聞記事のみを信じていた我々中学生は夢にも戦争に負けるとは思わなかった。ただ学校の教科内容はだんだんと変化し、中学1～2年時代には英語は必須課目の如く毎日2時間位の講義があったものが中学3年以降は週3～4時間に減りその部分が軍事教練の時間に振りかえられる様になった。(今でも横文字に弱い原因はこういう所にあるのだろうと思っている)

教練は毎日の如く行われ、三八式歩兵銃をかついで、背のうには煉瓦を3～4コ入れて行軍をさせられたり、訓練のない日は天皇陛下から下げ渡された銃と云う事で、丁寧にピカピカに光る迄手入れさせられたものである。従来、中学校は上級生下級生

の規律が厳しいものであったが、このような環境でこの関係は一層エスカレートし上級生には絶体服従で苦々しい想いを度々させられたが、現在の「いじめ」の様な陰湿なものでは無かった様に思う。

かくて昭和18年が暮れ、戦局は益々悪化する中で、中学校4年3学期を迎えた頃、5年生の新学期から学徒動員で呉海軍工廠へゆく様になるだろうと云う事が噂となった。この噂は本当の事となって昭和19年4月より呉海軍工廠に動員され、旋盤工として1年を過す事になった。

当初は週の内2日は学校に帰り勉強し、他を海軍工廠で軍事生産に励むと云う事であったが、1ヶ月位した頃よりこの制度は無視され、学校での勉強はなし、加えて夜勤迄押しつけられる様になり一般の徴用工夫と変わる事の無い待遇であった。

当時の食糧事情は終戦後もそうであった様に真に悪く今の時代では考えられない位ひどいものであった。(我々年代の人は一般に経験して居られるものと思うが……) 昼食(夜勤の時は夜食)として弁当が支給されたが主食は大豆滓4分、麦4分、米2分位の割合だったろうか?、現代では見向きもされないものであったが当時は腹が一杯になればよいとの思いで食べたものであった。

この様な悲惨な事もあったが、明るい話

題もあった。男女7才にして席を同じうせずと云う教育を受け、学校も男子は中学校、女子は女学校と別々で現在の様な男女共学でない環境にあったが、学徒動員では女学生は女子挺身隊と称して我々の工場にも配属され、非常に明るいムードを醸していた。その内段々と仕事上の事から口をきく様になり、中には今でいうボーイフレンド、ガールフレンドの形となって映画をみに行ったりする連中も数人出現した様に思う。当時中学生は映画館の入場を禁じられいたが、学徒動員者は工場の休日には映画位みても良いと多少緩和されていた。因みに映画入場料は99銭で1円以上にすると税金がかかると云う様な事であった事を記憶している。その後中学校の同窓会で当時の話なども出たが、女子挺身隊員と結婚した者は誰もないと、青春時代の淡い恋物語であった事を伺はせる。

学徒動員で初めて旋盤と云う機械を扱う事になったわけであるが、当初機械の構造、操作法式は安全注意に関する事項等を教えて呉れる指導員として広島高等工業（現広島大学工学部の前身）の学生が指導して呉れたが、戦時中の学制改革で9月に繰上げ卒業になるとの事であった、7月頃迄我々と同じ工場で過したが、9月の卒業に備えて帰校された。その後12月には海軍見習技術士官として再度工場に戻り、高等官待遇を受け身分に雲泥の差をみせつけられた。当時は上級学校でも理科系のみが徴兵延期の特典を受けていたし、中学校卒業後は直ちに徴兵で入隊する様に徴兵年令も一年繰り下げられていたので現在の様に浪人する事はゆるされない状況であった。従ってこ

の事実はものすごい発奮材料となって、同じ兵隊にとられるならば、理科系の学校を卒業してからとの想いを強くしたものである。しかし、勉強するにしても正規の授業はなく、工場から帰って自分で「代数のあたま」とか「幾何のあたま」等の参考書を利用したり、英語は欧文社の通信教育で添削指導を受けながらの受験勉強と云う様なもので現在の受験地獄に比べれば話にならないものであった。しかし私にとっては、自ら勉強する事の大切さを体験した非常に貴重な一時期であったと今でも思っている。

この様にして昭和20年を迎える事になり、戦局も益々苛烈となり20年3月には、呉海軍工廠も艦載機の空襲を受け防空壕に待避したが隣りの防空壕に直撃弾が落ちる等、九死に一生の体験もさせられた。この頃から日本は負けるんじゃないかとの危惧感が我々動員学徒のみならず工員の間にもささやかれる状況となった。その後5月に広島県立医学専門学校（現広島大学医学部の前身で新設校であった為受験期も入学時期も他の上級学校より遅れた）の合格通知を受け我が人生にも一縷の希望を見出したが7月には呉市街の焼夷弾爆撃で家財一切丸焼けになったり、8月には学校が原爆で跡形もなくなったり（学生は開校直後芸備線の甲立と云う村に疎開して奇跡的に無事であった）今でもゾツとする思い出がある。昭和20年8月15日終戦を迎え、その後は学校の移転問題とか、戦後の学制改変による学校そのものの存続問題とか、種々な苦難に遭遇したがこれらの悪条件にも負けず頑張れたのは若さの賜であったと今でも信じている。その他学生時代にマンドリンク

ラブを結成して呉の本願寺会館ホールと云う文化ホールのな場所のこけら落しに出演したり、岩国国立病院の患者慰問に行った事など思い出は尽きないが、我が青春の一端をのべて一応筆を擱きます。

この原稿は湾岸戦争が始まった日に書いている。我々が青春時代に体験した悲惨な状態を繰返さない為にも1日も早く戦争が終結し、国際平和が確立される事を切に祈る次第である。



平成2年度 光市児童生徒の集団心臓検診結果

(対象者)

小学1年生	524名
中学1年生	717名
他の学年で校医が必要と認めた者	18名
計	1,259名

(要管理の病名)

病名	小学生	中学生	計
心室性期外収縮	2	6	8
W. P. W症候群		3	3
心室中隔欠損症術後	1	1	2
上室性期外収縮		2	2
左軸偏位+ 不完全右脚ブロック	2		2
心筋症		1	1
L. G. L症候群	1		1
P. Q延長	1		1
移動性ペースメーカー	1		1
計	7	14	21

(検診結果)

	一次検診	二次検診	異常なし又は管理不要	要管理
小学校計(人)	529	22	15	7
(%)	100	4.16	2.84	1.32
中学校計(人)	730	43	29	14
(%)	100	5.89	3.97	1.92
小中学生計(人)	1,259	65	44	21
(%)	100	5.16	3.49	1.67

(光市医師会学校医部会一福本先生作成資料より抜粋)

〈会員寄稿〉

スペインとパリ風景の旅

中村 国雄

中東での湾岸戦争が勃発し、この稿が載る頃には結着がついているかついていないかわかりませんが、現在の世界情勢では考えられない位三ヶ月前の平穏の日々の私達のスペイン旅行でした。ですからこんな話題も今では的外れの感なきにしもあらずですが。

大学卒業後38年間も、殆んど休まずに働き続けて来たので、少し位の余暇を戴いても皆さん（患者さん）に許して貰えるであろうと勝手に屁理屈をつけて、スペイン、パリ九日間のツアー旅行に出かけ

ました。ヨーロッパの地は生れて初めてなので、ある期待と不安とをいただき乍ら。11月25日に出発し、12月3日帰国するので緯度が北海道位に位置するスペイン、パリは初冬と云うことと相まって厳寒を予想していましたが、期間中1日も雨に会わず暖い日々で随分助かりました。今回のツアーは旅行者11人、添乗員1人の少人数グループであった。新婚さん3組、若い女性の2人組と我々シルバー3人であり、新婚さんに当てられ乍らの楽しくもあり苦しみ乍らの旅でありました。ツアー旅行を経験なさ

った方はお解りであろうが、この類の旅行は、松本清張ではないが点と線を、現代ではジェット機を利用してあたかもベルトコンベアよろしく、朝早くのモーニングコールで起され、1日中あっちこっちの所謂名所旧跡を巡り、写真をパチパチ、ビデオを

くるくる廻し、あげく草臥れ果てて指定のホテルに到着し、明日に備えて少しでもスタミナを保つべく、風呂に入り持参のウィスキーを就眠薬としベットに入寝わけです。次にツアーの概略をお話しますと、地図にあり



ますように、成田ーアンカレッチ（零下15度の雪景色に驚く）ーロンドンを経てスペイン最初のバルセロナに到着しました。'92にオリンピックが開催されると云うことで到着した空港から街中至る所オリンピック、オリンピックの準備。オリンピックを契機として益々経済的に発展したいという切ない希望をスペインの人々から感じとられました。

バルセロナではオリンピックメイン会場等々を見て廻りましたが、一番印象に残りましたのは、ガウディゆかりの聖家族教会、

—写真—です。

点と線よろしく、次の目的地はマラガです。バロセロナからイベリア航空で1時間半のフライトです。バルセロナ周辺はカタルーニャ地方と呼ばれているのですが、マラガ・グラナダ・コルドバ等の都市はアンダルレア地方と呼ばれています。アンダルレア地方は年中を通して雨が少いので普通の植物は育ちにくく、唯一オリーブの木（あの月桂冠）が育つ位と云うことで、写真にありますように、バスの窓からの景色は行けども行けども麗から山頂にかけてオリーブ島の山々、丘々。この植物がなければ、アルダルシア地方の殆んど土地ははげ山ばかりとの事で、神様がオリーブの樹を授けて下さったという昔からの云い伝えがあるそうです。

コルドバから首都マドリッドへは日本の在来線特急に当るタルゴ列車というものに乗リ4時間半の旅でした。面白いことに列車は40分も遅れて到着して来ましたが乗客は誰一人文句を云うこともせず、仄聞するに40分遅れはまだ良い方という大らかというか、大陸的と云うか日本人には到底考え



オリーブの島



ガウディ 聖家族教会

られないことでした。マドリッドから空路旅の最後のパリに着きました。パリでの印象はヴェルサイユ宮殿とルーブル美術館とにつきます。双方とも3畳から4・5畳あるいわそれ以上の大きな絵画が次から次へとあり、ものすごく沢山あるなあという印象しがありませんでしたが、ルーブルでのあの「モナリザの微笑」と「ミロのヴィーナス」の実物を一末の距離で、自分のこの眼でみる事が出来たという貴重な体験で



ミロのヴィーナス

この1点丈でパリ旅行を満喫したと云っても差支えありませんでした。

パリからシベリア経由で帰って来ましたが途中のシベリアの景色は本当に圧感でして、行けども行けども冠雪した山々、平野、それと立派な道路とまがう氷りついたであろう川川、で殆んど何もなかったという印象でした。シベリアには莫大な資源が眠っているということですが、開発にはものすごい資金と労力が必要であろうとのこと汲々と感ぜられました。このシベリアをみま

すと日本は本当に狭い国だなあとつくづく感ぜられます。

旅行は楽しみに遊びに行くものですが、今回の旅はミネラルウォーターを購入せねばなりませんし、靴底のようなピフテキに挑戦せねばなりませんし、ベルトコンベアよろしくあっちこっち引っぱり廻らせられ疲れに疲れて帰国しましたが、何回も離発着したジェット機が無事であったということが唯一の幸福であったかもしれません。



〈医療廃棄物適正処理ガイドライン〉

感染性廃棄物の色分け

感染性廃棄物の種類	内容物の表示等	
	表示	色分け
1. 注射針等の鋭利なもの (注射針、メス等)	「感染性注射針等」	黄色
2. 固形状の可燃物 (点滴セット、注射筒等のプラスチック類、ガーゼ等の繊維類等)	「感染性固形状可燃物」	橙色
3. 固形状の不燃物 (ピン等のガラス類)	「感染性固形状不燃物」	
4. 液状又は泥状のもの (血液等)	「感染性液状泥状物等」	赤色

(山口県医療廃棄物処理指針より抜粋)

1 月度月間行事・会議

日	曜	行事・会議	場所	出席者
8	火	定例理事会	光市内小蜂	9名
17	木	結核審査会	徳山環境保健所	福本
18	金	心電図研究会	光市立病院	9名(光市医師会)
16~19	水~土	国保審査会	山口	富恵
22	火	月例会・新年互礼会	光市医師会館	26名
24	木	光市医師会・ 光市担当課との協議会	保健センター	福本・富恵・前田
29	火	臨時理事会	光市医師会館	7名
31	木	徳山環境保健事業連絡協議会	徳山環境保健所	福本

定例理事会

1月8日(火) 午後6時30分~

於 小蜂

(出席者) 福本会長、富恵副会長、丸岩・
前田・梅田・赤崎・藤原・吉村理事

(議題)

- 1) 会計報告(4月~12月) (藤原理事)
了承
- 2) 市医、県医、日医の会員名簿(A会員の
会費規則を含めて) (福本会長)
光市医師会A会員であって開設者ではない
ケースがあるので、光市医師会会費の
規則の(2)の…医療機関の開設者は、A会
員として…の開設者と言う部分を除いた
方がよいのではないか。

- 3) 市との話し合いについて (福本会長)
平成3年度医師出務報酬等について市(保健
センター・教育委員会)と1月24日
話し合う(医師会側—福本会長・富恵副
会長、前田理事)

- 4) 大腸がんの精密検査について
(福本会長)

- 5) 来年度の予定 (福本会長)

- 6) 新年互礼会及1月例会について
(福本会長)

22日開催する。

- 7) その他

イ)松岡満寿男氏後援会加入の件

月例会で意見を聞く

ロ)医療廃棄物の適正処理について

(福本会長)

県より「医療施設における廃棄物処理指針」に基き実施するよう要請があったが、光市医師会では適正処理がおこなわれているので、特に問題になる点はない。内容物の色分けに注意する。

ハ)平成3年度学校教職員健康診断の件

今年度は内診、採血だけであったが、所定の検査は一括してする方がよいのではないか。継続審議とする。

(対象者89名)

ニ)老人保健施設開設の件

月例会にはかる。

ホ)看護婦給与の実態調査の件

ヘ)医学講演会の演題の変こうの件

ト)平成3年度税制改正大綱について

チ)県医師会より依頼の事務局の給与の件

心電図研究会 (第31回)

光市・下松医師会合同

1月18日(金) 午後7時30分～

光市立病院

演題「心電図の読み方」

講師 徳山中央病院 河野隆任先生

症例

1)79才、♂、(主訴) るいそう、肺炎で呼吸困難な状態であった。(EKG) V_4 、 V_6 にみられるQRSの次の波はJ波(osborn波)ではないか?、河野先生の意見では重傷で窒息状態のための心電図変化と解釈したらよいのではないか。

2)54才、♀、(主訴) 突然の意識消失、

(EKG) I・II・aVL・aVFのST上昇、

其後心室性期外収縮→心室細動→寛解、

この発作を3回繰り返し(3回目は落ち着くまで時間がかかった)1週間後T波が逆転、酵素反応が上昇(GOT、LDH、CRK等)したがこれは除細動をおこなったためのもの、(診断)心外膜炎

3)56才、♂、(主訴) 左前胸部激痛発作

(EKG) V_3 ・ V_4 でT波がR波に比べて異常に高い。2病日目 V_3 ・ V_4 のST上昇、数日経過後運動負荷をかけ、特に V_6 の陰性Tが陽性に化する。この変化は余りよくない状態である。(診断)前下行枝の梗塞

①②は赤崎先生症例、③は河野先生症例

月 例 会

新年互年会

1月22日(火) 午後6時30分～

光市医師会館(光商工会議所)

(報告事項)

1)第9回胃がん検診講習会の件

2)第18回山口県医師会生涯研修セミナーの件

3)保険診療に関する協議事項

4)2月度心電図研究会特別講演の件

5)医学講演会(学校医研修会、学校保健研修会)の件

6)広島市長選挙にあたり杉本純雄先生の応援について

7)医療廃棄物処理の件

8)学術講演の件

(講師)岸本眞也先生、(演題)消化性潰瘍の再発の現況 (日時)2月26日

- 9) 第4回産業医研修会出席の件
(協議事項)
- 1) 松岡満寿男氏後援会の件
医師会として入会する。会費は会長交際費から出したらよいのではないが。
- 2) 平成3年度学校教職員健康診断の件
学校医部会等で更に検討を加える。
- 3) 老人保健施設開設の件
藤村先生より施設の主旨、概要の説明がある。後日各医療機関に賛否の意志表示をして決定する。



(新年互礼会風景)

光市医師会・光市担当課 との協議会

- 1月24日(木) 午後1時30分～
(出席者)
光市医師会一福本会長、富恵副会長
前田理事
光歯科医師会一守田会長
光市一棟近市民部長、川崎保健センター
所長、三名木・中原氏(市教委)

(議題)

- 1) 平成3年度予防接種出務料等
- 2) 平成3年学校医報酬等
- 3) 平成3年学校教職員健診方法

- 4) 大腸癌の精密検査
- 5) 休日診療の問題点

臨時理事会

1月29日(火) 午後1時10分～
光市医師会(光商工会議所)
(出席者) 福本会長、富恵副会長、前田・
梅田・近藤・藤原・吉村各理事
(議題)

- 1) 老人保健施設の件
- 2) 牛島診療所の件

＝ 編集後記 ＝

今年は比較的寒さの少ない冬ですが、立春を過ぎてもまだ春は浅いといった感じがします。2月3日は近くの神社で節分の行事がおこなわれておりました。境内に組れたやぐらの上からモチまきをしておりました。節分になると子供の頃疫気をはらうため豆まきをして、年の数ほど拾って道路の四つ角に捨ててに行った事を思い出します。豆をまく風習は豆が健康に通じて縁起がよいためだという説があるようです。しかし節分にモチをまく風習があるのか調べてみましたが、はっきりしませんでした。

今月号は竹中先生に青春の思い出を、中村(国)先生に旅行記を書いていただきました。有難うございました。(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	福本寿雄
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社